



実験棟として  
設計室が完成しました。



省エネ・創エネ LCCM住宅 HEMS等を  
(高断熱気密化・太陽光発電) (CO2収支をマイナスにする住宅) (エネルギーの見える化)

### 取り入れた次世代住宅を造りました。

外構には緑を取り入れてコンクリートの熱反射を減少させる事ができるのか、エネルギーの見える化(HEMS)でどのようなエコライフを送る事が出来るのか、風の流れを利用して快適な生活を送ることが出来るか等、設計士自ら体感して今後、お客様に良いご提案をさせて頂ける実験を行っていききたいと思います。

次世代住宅のポイントは

- ・住宅の断熱気密化
- ・電気の自給自足
- ・住宅の採風設計等が考えられます。

POINT



弊社ではポイントの一つでもある高気密・高断熱のSW工法での施工を多く行わせて頂いております。

皆様のおかげでSW工法2011年最多棟数日本一にさせて頂く事が出来ました。



最多棟数賞の受賞

お客様に支えられて感謝の気持ちでいっぱいです。その表彰式が1月26日に都内で行われました。翌日27日には全国の工務店様が総勢40名程弊社を見学にいらして下さいました。本当に光栄な事です。

これからもご縁を大切に日々精進してまいります。



見学会の様子

## トドのひとり言

二位ではだめです、一位でないとい！

1月26日 <sup>リクシル</sup>LIXIL(旧トステム)の高気密、高断熱のスーパーウォール(SW)住宅2011年、施工棟数コンテストの成績発表と表彰式があり、当三和住建が堂々の第一位となりました。

今迄の累積施工棟数 248 棟とおかげ様で、200 棟超えた事でも表彰され、ダブル表彰となりました。これは、北海道から九州まで全国参加工務店(約 500 社)での成績です。2011年の表彰を社長が受取り、累積の楯を私が受取りました。数年前に二位ではだめですかと言



累積棟数賞の受賞

った大臣がいましたが、コンテストは参加したならば一位でないといだめです。全国優勝に<sup>おご</sup>誇る事なく、人と環境にやさしい家造りに日々努力していきます。その式典講演で「住宅の断熱と健康について」と題し、健康で長生きするには高断熱住宅が健康に良いと言う話しを、近畿大学建築学部長の岩前教授が様々なデータを元にお話しされ、非常に参考になりました。(チャンスがありましたら、この興味深いお話しをもっと詳しくお話できればと思います。)三和住建が、皆様にオススメしてきた家造りは間違いでなかったと確認すると共に、「三途の川」を見て死の崖っぷちに行った私も復帰して19年目になりますが、元気で会社の経営に携わっているのは、高気密、高断熱住宅に住んでいるお陰と思い感謝しています。

最近『PPK』と言う文字をよく目にしますが皆様ご存知ですか? 『PPK』とはピンピンコロリと言うそうです。私の生まれ育った長野県は平均寿命が国内だけでなく、世界でもトップクラスでしかも老人医療費は全国最低だそうです。(長野県は高気密、高断熱が進んでいます)その一方100歳以上の長命者の比率は上位に入っていない、長生きはするけど他人さまにそれほど世話にならずに100歳少し手前で亡くなる傾向にあるそうです。この傾向を『PPK』と称しています。私も『PPK』で人生を全うしたいと思います。皆様は?・・・『NNK』(ネンネンコロリ)にならないようにしましょう。